

別添1

基本評価シート  
(ニホンジカ)

(群馬県 自然環境課)

## 基本評価シート（ニホンジカ）

### 1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業（赤城地区、神津地区、尾瀬地区、秋畑地区）		
都道府県名	群馬県	担当者部・係名	環境森林部 自然環境課野生動物係
担当者名	友松	担当者連絡先	027-226-2874
捕獲実施事業者	(株)WSaT、(一社)群馬県猟友会 (認定を受けている・受けていない)	予算額（※2）	65,584千円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	56,587千円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成30年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

### ○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
560頭	624頭	111%

### 〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
34,630~46,360頭	15,000頭	H25生息数の半減(R6)
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
4,096頭(R5) ※R6は集計中	8,364頭(R5) ※R6は集計中	250頭(R5) ※R6は集計中

### ○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

これまでに、単独事業で実施してきた「赤城地区」及び「尾瀬地区」を指定管理鳥獣捕獲等事業として継続して実施している。  
令和元年度に単独事業で試験的捕獲を実施した「秋畑地区」を指定管理鳥獣捕獲等事業として実施している。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>群馬県におけるニホンジカの状況は、生息数の急激な増加と生息分布域の拡大が確認され、農林業被害額は約2億5千万円（R5）に上り、自然生態系にも深刻な影響を及ぼしている。</p> <p>県では、第五期のニホンジカ適正管理計画（第二種特定鳥獣管理計画）を策定し、平成30年4月における県全体での推定生息数を、34,630～46,360頭と推計し、令和2～6年度の捕獲目標を15,000頭／年（狩猟、有害捕獲、個体数調整の合計）と定めた。</p> <p>県では市町村による有害鳥獣捕獲事業に加え、捕獲強化のため、指定管理鳥獣捕獲等事業を活用し、これまで捕獲が困難であった高標高地域の鳥獣保護区等でニホンジカの集中的な捕獲を行い被害防止に努めた。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乗せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
実施区域	<p>○赤城地区 高標高の高密度地域、分布拡大地域（南麓地区）</p> <p>○神津地区 高標高で遠隔地である高密度地域</p> <p>○尾瀬地区 季節移動経路上での捕獲</p> <p>○秋畑地区 峠付近などの奥地である高密度地域</p> 
関係機関との協力	地域有害鳥獣対策会議等で、実施状況を共有しながら、関係市町村の協力を得て実施した。
事業の捕獲目標	<p>( 111%達成 )</p> <p>= ( 624頭 実績値 ) / ( 560頭 目標値 )</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃                      <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り                      <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング              <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p>

	<input type="checkbox"/> その他（ ）  <b>【わな猟】</b> <input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他（ ）
捕獲個体の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：ツキノワグマ錯誤捕獲対策として一部で短径 10 cmの踏板を使用） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	あらかじめ事業計画書で作業内容や緊急連絡先等を整理したとともに、作業前後のミーティングによる安全管理の徹底に努めた。
捕獲従事者の体制	<b>【雇用体制】</b> 捕獲従事者数：138人 （内訳） 正規雇用者：17人、期間雇用者： 0人                      日当制：121人

### 3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

#### ○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>評価：県全体の捕獲目標に対して113%の達成率であった。捕獲目標に達しない地区が1地区あった。</p> <p>&lt;赤城地区&gt;捕獲目標160頭に対して、198頭の実績（達成率123%）          &lt;神津地区&gt;捕獲目標150頭に対して、127頭の実績（達成率84%）          &lt;尾瀬地区&gt;捕獲目標180頭に対して、229頭の実績（達成率120%）          &lt;秋畑地区&gt;捕獲目標60頭に対して、70頭の実績（達成率116%）</p>
	<p>改善点：各地区とも年変動を考慮しながら今年度の捕獲実績を参考に、より適切な目標頭数の設定を検討する必要がある。</p>
【実施期間】	<p>評価：昨年同様、尾瀬地区は切れ目のない季節移動個体の捕獲に取り組めた。赤城地区及び秋畑地区については昨年同様の捕獲期間を確保できた。</p> <p>神津地区については、目標頭数を達成するように、実施期間の確保にむけて、委託先事業者と調整していきたい。</p>
	<p>改善点：今年度の捕獲実績を参考に、目標未達の地区については、捕獲期間を確保する必要がある。</p>
【実施区域】	<p>評価：昨年同様の地区で実施したことにより、過年度の捕獲実績を分析した上で、銃猟実施区域の選定、くくりわな設置場所の選定ができた。</p>
	<p>改善点：引き続き調査結果を基に見直しを行う。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：銃猟及びくくりわなによる方法が効果的であった。</p> <p>&lt;赤城地区&gt;自動通報装置を活用した見回りの省力化や餌誘引の実施により、くくりわな及び囲いわなの効率的な稼働ができた。また、ニホンジカの警戒心を高めないよう、適度な間隔を空けて巻き狩りを行った。</p> <p>&lt;神津地区&gt;自動撮影カメラ調査及び痕跡調査の結果をもとに、くくりわなの設置場所の移動や銃猟の実施場所選定を行い、効率的な捕獲を実施した。</p> <p>&lt;尾瀬地区&gt;環境省が提供するGPS首輪装着個体の位置情報を捕獲従事者と共有し、とくにメス集団の季節移動の時期に集中して捕獲を実施することができた。</p> <p>&lt;秋畑地区&gt;自動撮影カメラの結果、ライトセンサスや痕跡調査をもとに、くくりわなの設置場所の選定を行い、効率的な捕獲を実施した。</p>
	<p>改善点：くくりわなの見回りの省力化には自動通報装置の活用が有効であり、導入可能な地区において引き続き活用したい。銃猟については実</p>

	施日の生息状況が実績に影響するが、作業日報や自動撮影カメラ調査結果等の活用により、捕獲従事者間の情報共有につなげ、効率的な実施に努めたい。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：実施体制としては十分な人数を確保できた。
	改善点：引き続き効率的な捕獲に努めたい。
【個体処分】	評価：適切な処分が実施された（焼却・埋設）。
	改善点：引き続き適切な個体処分に努めたい。
【環境配慮】	評価：錯誤捕獲の防止及び一部非鉛製銃弾の使用に努めた。
	改善点：全地区において非鉛製銃弾への切り替えに移行したい。
【安全管理】	評価：事故もなく事業を完了することができた。
	改善点：引き続き安全確保に努めたい。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 赤城、尾瀬、神津、秋畑地区の4地区での合計捕獲数は、過去最高となった。赤城、尾瀬、秋畑地区での着実な捕獲と神津地区での捕獲努力が功を奏した 各種生息状況調査を活用し、各実施区域内できめ細かに捕獲実施場所を設定することで、さらに効率的な捕獲体制の整備に努めたい。 ＜赤城地区＞糞塊密度調査や自動撮影カメラ調査の結果からシカ生息密度の低下が示唆されたが、植生調査ではシカの影響が高いという結果であったことから捕獲を継続する必要がある。また、捕獲によりシカの行動域が変化している可能性もあるとの捕獲事業者の報告に基づき、令和7年度から捕獲場所を拡大することとした。 ＜神津地区＞令和4.5年度に引き続き令和6年度も捕獲目標頭数を達成できていない状況である。事業者と、捕獲目標達成に向けた協議を繰り返してきたが、過去、達成したことがないことから、過大な目標設定数であることが思慮されるため、目標頭数を下げ、他の地区で捕獲目標頭数を増やし、財源や人的資源を有効活用する必要がある。 ＜尾瀬地区＞尾瀬に向かう春期及び尾瀬から日光方面へ移動する秋～冬期に、移動経路上で捕獲を行っている。GPS調査や積雪状況の分析により、捕獲時期の見極めができるようになってきている。ただし、捕獲地の通過個体数を自動撮影カメラによる撮影頭数から推計すると、捕獲できていない個体がまだ高い割合で存在していると考えられる。また、季節移動ルートが変化している可能性も報告されている。こうしたことから、新たな捕獲場所を検討するなどし、通過個体をさらに効率的に捕獲する必要がある。 ＜秋畑地区＞他の地区と比べて、CPUEが高いので、効果的な捕獲が可能な地域として、	

より重視していきたい。ライトセンサス調査においては、耕作放棄地周辺でシカが見つかることが多かったことから、足跡などの痕跡調査を実施した上で、くくりわなの設置場所として検討していきたい。また、6月と12月に自動撮影カメラによるシカ撮影頭数が高くなっていたことから、捕獲実施期間にこれらの時期を含めると良いと考えられる。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業の実施により、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲目標頭数に上積みすることができた。また、高標高地域など、本事業の実施前までは捕獲圧のかかっていた地域での実施により、近隣地での被害減少に効果があったと思われる。今後の生息状況等の調査を継続し検証していく。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ( )	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図	<input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題		

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 98人日

事前調査人日数概数※2： 0人日

出猟（捕獲作業）人日数： 98人日

項目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	98人日	169人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 1,837人日

事前調査人日数概数※2： 0人日

出猟（捕獲作業）人日数： 1,837人日

項目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の 値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日 数）	73,459 基日	73,636 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	18頭	18頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	119頭 (赤城地区のみ)	20頭 (赤城地区のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	55.5% (10/18)	65.6% (12/18)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数※1)	0.1% (1/18)	27.7% (5/18)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1: 全捕獲数には幼獣・成獣の別が不明なものを含む

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	18頭	98人日	0.18 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	1.21 頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2: CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3: SPUE=目撃数/のべ人日数。赤城地区のみで算出

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和 6 年 (事業年度の 値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	606頭	533頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	50.9% (309/606)	55.5% (296/533)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数 <sup>※1</sup> )	22.9% (139/606)	21.9% (117/533)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：全捕獲数には幼獣・成獣の別が不明なものを含む

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	606頭	73,459基日	0.0082 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

ウ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 1 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲個体データ、写真及び証拠品（原則として尾）

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。